1肝炎ウイルス　遺伝子検査検体出検方法

1 PCR専用検体として採血して下さい。

⇩

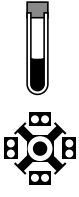
2 室温で30分間静置して下さい。

⇩

3 所定の条件で遠心分離して下さい。

⇩

4 栓を開けずに速やかに凍結保存して下さい。



《注意》

コンタミネーション防止のため、栓は開けないで下さい。
PCR専用として用い、他の検査のための分注は避けて下さい。
必ず遠心分離した後に凍結して下さい。
遠心分離後、血清分離剤の上に赤血球成分の残存が認められた場合は、血清の上澄部分を別の専用採血管に無菌的に移し替え、必ず凍結してご出検下さい。

注）検体中へのヘパリンの混入は、PCRの反応系に影響を及ぼしますので、透析患者さんでPCR検査をご依頼の際は、ヘパリン投与施行中の採血はお避け下さい。